第１学年　特別活動　【交通安全】　　　　　　　　　　　　　　場所　１年Ｅ組教室

「第五中学校交通安全地域マップ」から交通安全上の問題点をみつけよう

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　指導者　教諭　湯澤　一也

１　指導のねらい

小学校第５学年及び第６学年、保健における交通事故などが原因となるけがの防止に関する学習や学級活動における地域安全マップを通した学習を基礎とした見方・考え方を働かせ、交通事故を回避するための安全な行動の仕方を身に付ける。また、他者と協働する様々な活動の必要性を理解させる。

【知識及び技能】

地域の交通安全上の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたり

できるようにする。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【思考力、判断力、表現力等】

地域社会で生活する一員として、地域の交通安全を守り、安全文化を積極的に構築しようとする意欲を身に付けさせる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【学びに向かう力、人間性等】

２　学習指導要領との関連

特別活動　学級活動（２）エ「安全な生活態度や習慣の形成」

　　　　　　　　　（３）イ「社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成」

３　安全に関する視点

地域社会の危険を積極的に見いだし（抽出）、その危険がどのように起きるのか、また、なぜ危険なの

かを深く考え（分析）、問題点を明らかにするとともに、問題を解決する具体的な方法などを考える活動

を行うことができる生徒の育成を目指す。

さらに、学習したことを地域等に積極的に発信しようとする態度など安全文化を発信する生徒を育成す

る。

４　関連する教科等の内容

　　中学校　社会　地理的分野　「日本の様々な地域『地域調査の手法』」

　　中学校　美術　「ピクトグラム」

中学校　保健体育　保健分野　「傷害の防止」

　　小学校　学級活動　「地域安全マップの作成」

５　指導計画（５時間）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | 評価規準 |
| １ | 警察署員から市内及び本校通学区域で起きている交通事故の実態や特徴を聞き、危険箇所の実地踏査の計画（場所・点検項目）を立てる。 | 地域安全マップの作成に関する学習を振り返り、地域安全マップの目的や意義について確認することができる。警察署員から市内及び通学地域の交通事情を聞き、環境と事故の特徴を関連付けて考えることができる。実地踏査の目的を理解し、踏査の目的を認識するとともに点検項目など計画を立てることができる。 |
| ２ | 実地踏査を行い、危険箇所に関する資料を作成する。(地域ごとの班を編成し実施) | 実地踏査を行い計画に従って交通安全確保の視点で危険箇所に関する問題点を整理することができる。また、効果的な資料とするための写真撮影、スケッチ等ができる。 |
| ３【本時】 | 実地踏査で収集した写真等の資料を用い地図上に危険箇所を示し危険である理由を整理する。 | 実地踏査を行った場所の地図上に分かりやすく交通安全上の危険箇所を示すことができる。また、なぜ危険なのか、どのような危険性があるのかを示すとともに説明することができる。分かりやすい交通安全地域マップを作成できる。 |
| ４ | 交通安全地域マップを活用し、危険を回避するための行動についてまとめる。（講師　警察署員） | 危険箇所の環境や特徴だけでなく、気候や気象の条件などを考慮した上で、危険を予測し回避する行動をとることができる。 |
| ５ | 　交通安全地域マップを活用して、地域の交通安全上の危険や危険回避について発信する。 | 交通安全上の危険や危険回避ついてどのようにすれば効果的な発信ができるか考えることができる。効果的な発信方法を選択し行動を起こすことができる。 |

６　本時の展開

（１）ねらい

　　小学校第５学年及び第６学年、保健における交通事故などが原因となるけがの防止に関する学習や学級活動における地域安全マップを通した学習を基礎とした見方・考え方を働かせながら、実地踏査で収集した写真等の資料を用い地図上に危険箇所を示し、危険である理由を整理する。

（２）展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 学習活動・学習内容 | 支援・留意点　◎評価 |
| 導入 | ○小学校第３学年社会で学習した「身近な地域のようす」「地域の安全を守るはたらき」、小学校第５学年及び第６学年保健で学習した　「交通事故の防止」、小学校学級活動で学習した「地域安全マップの作成」についての振り返りを行う。地域の交通安全を守る上で危険な箇所をマップ上に示そうマップ上に示した箇所が、なぜ危険なのかを考え整理しよう私たちは何ができるだろうか○本時の課題について確認する。○班ごとに、担当地域のマップ、実地踏査資料等の準備を行う。 | ・小学校での学習内容については、教師の講話を中心に、学習内容の振り返りを行う。・班が担当した地域内の３箇所前後についてマップ上にプロットすることを確認する。・実地踏査資料と第１時での学びを活用して理由を考えることを確認する。 |
| 展開 | ○地域マップ上に最も危険だと考えた３箇所前後についてプロットする。○プロットした３箇所前後の地点にどのような危険性があるのか、なぜ危険なのかを話し合いまとめる。○地図上に工夫して表記する。 | ・実地踏査をしながら最も危険だと考える箇所を各班で３箇所前後挙げさせておく。・マップ上のプロットについては、ピクトグラムなどの手法を活用させ、子供、高齢者など誰にでも分かりやすいものにする。・本時のまとめとして、各班でプロットした１箇所を取り上げ、学級全体に説明することを伝える。説明者を選出しておくよう指示する。◎なぜ危険なのか、どのような危険性があるのかを適切に説明しながらプロットしている。 |
| まとめ | ○発表○教師による講話 | ・いくつかの班に発表するよう指示する。・発表に当たっては、「実地踏査の感想」、「プロットした理由」、「どのような危険性があるか」については必ず説明させる。◎「実地踏査の感想」、「プロットした理由」、「どのような危険性があるか」の３点が明確である。・教師の講話で次時の学習について触れる。 |

（３）期待する生徒の反応

「日常生活の中に多くの危険箇所があることに気がついた。今後の生活でも危険な場所を見つけていこうとする力が身についた。」